

平成29年度人権教育指導者養成事業

医療関係者研修会



- と き：平成29年 4月27日（木）
- と ころ：仙台青葉学院短期大学



本医療関係者研修会は、医療及び看護等に関わる関係者が、人権理解の涵養を図ることで、普段の医療行為や看護行為の中で患者等とのより良い係わりを育むとともに、医療等における人権教育指導者の養成を目指すことを目的として平成27年度から行っています。本年度の研修会は、仙台青葉短期大学看護学科3年生99名が学びました。

宮城県肢体不自由児協会事務局長、社会福祉士の末田耕司先生と、弁護士の土井浩之先生からお話をいただきました。

受講者は、看護の道を志して日々学ぶとともに、患者を目の前にして実習している学生であることから、現実を意識しながら大変意欲的に受講していました。受講後の感想からは、「他人や患者を見る目・見る心を変えていきたい。」「常に患者の心に寄り添いたい。」といった、明日からの実習や実践の中での心構えに関するものが多く、本研修会が、今後の生活や看護に生かされていくものと期待しています。



【参加者からの感想】

- ワークショップで、思っている以上に見ているつもりでも、集中してしまうと周囲が見えなくなることを実感しました。人権という言葉となるとなかなか難しく感じるが、人として尊重することがまず一歩であることが分かった。（20代女性・学生）
- 看護師の仕事は人間らしい活動であり、人間の本能にもともとあった気持ちである、というのは発見でした。生きる意欲を回復させる仕事をするために、自分を大切に、そして他人も大切に尊重していきたいと思います。実習中の気づきを大切にしたいと思います。人権の視点を意識してみると、見え方が違ってくる。意識して実習したいと思います。（30代女性・学生）
- 「患者さん」という見方で、問題がある前提で見るのではなく、「一人の尊重されるべき人」ということを常に忘れず、看護はもちろん、これからも意識していきたいと感じました。当たり前なことだと思わず、相手のことを思いやり理解するためにも、自分はどんなことをされたらどんな思いになるのか考え、自分も誰か（みんな）を尊重していきたいです。ありがとうございました。（20代女性・学生）
- 患者やその家族の人権を尊重することは看護・医療の基本だと思っていましたが、看護師や医療従事者の人権も同様に大切なものであるということに気がつきました。「人を尊重できなくなる時」「他人を尊重し続けるためには」のお話がとても印象に残りました。患者だけではなく、教員が学生に対して・学生間・学生－臨床指導者、お互いに尊重し合える関係を築きたいと思いました。（30代女性・教職員）

「気づきのワークショップ」 「セルフエスティーム」

県肢体不自由児協会 事務局長 社会福祉士 末田 耕司 氏

☆講話の内容

◎「気づきのワークショップ」…よく見るということ

- 人は意識することで物事がよく見えてくる。
どこに視点をあてて、何を見ようとするかが大切。
- 自分の良さを意識することができれば他者の良さも見ることができる。自分の良さを認識しそれを伸ばすことが大切である。

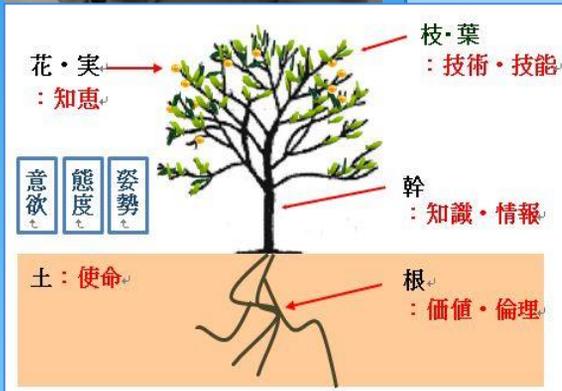
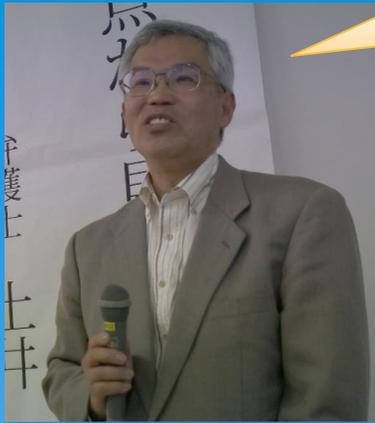
◎「セルフエスティーム」

• 「自己肯定感」とは：

自分のできることできないことなど全ての要素を包括した意味での「自分」を他者との関わり合いを通してかけがいのない存在、価値ある存在としてとらえる気持ち。

• 「自尊感情」とは：

ありのままの自分を受け止め、自己の否定的な側面をふくめて、自分が自分であっても大丈夫という感覚。自分に対する評価を行う際に、自分の良さを肯定的に認める感情。



「人権の視点から見た看護の仕事」

弁護士 土井 浩之 氏

☆講話の内容

◎人権とは

- 生まれながらにもつ権利

◎人権侵害とは

- 人間として尊重されていない

◎人間は群れをつくる動物である

- 弱い仲間を守ろうとする気持ち
- 仲間のために戦う強い気持ち
- 他人の気持ちを察して自分の行動を修正する

◎危険を感じる事情

【身体生命の危険】…暴力

【人間関係の危険】…

…正当に評価されない

…群れに参加できない（排除される）

→ 緊張、ストレス

◎危険を解消できない場合

- 恐怖→絶望感→生きる意欲失う→**死**

◎危険を感じ出ない場合

- 自分の弱点を認めてもらえる経験
補ってもらえる・助けてもらう経験
→ **見捨てられない・仲間であられる**

◎「危険」を感じやすい

患者の立場

- 軽い存在
- 弱い立場

◎看護の仕事の特徴

＝人間らしい活動

- 助ける、補う仕事
- 弱い者を守る仕事
- 仲間のために力を出す仕事

→ **生きる意欲を回復させる仕事**

◎人を尊重できなくなる時

- 身体生命・人間関係の危険を感じる時
- 睡眠不足、人間関係不良、体調不良、時間不足
→ **余裕がなくなる、言われたことしかできない
二者択一式思考、見えること優先**

◎他人を尊重し続けるためには

- 自分自身で自分を尊重し、他人にも尊重してもらおうとすること
→ **「全ての人間は尊重されるべきである！」**

